

琉球大学医学部附属病院がんセンター  
平成31年度がん患者等支援事業

# がん情報及び地域がん医療説明会 「もしも東村でがんになったら」 に関する報告書

2019年5月17日

地域の療養情報「おきなわ がんサポートハンドブック」の刊行に際し、本書の活用説明会を東村で実施した。東村におけるがん医療の在り方について、東村長・担当課長らと協議した。また、東村立診療所長とも同様の協議を行った。

■東村におけるがん医療の在り方についての協議  
(東村役場)

日 時：令和元年5月17日（金）15：30～16：00  
場 所：東村役場 村長室  
出席者：東村 村長 當山 全伸 様  
東村 副村長 金城 紀昭 様  
東村 福祉保健課 課長 金城 幸人 様  
東村 福祉保健課 保健師 玉城 梓 様  
琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田 昌人  
琉球大学医学部附属病院がんセンター事務補佐員 東 啓子

(東村立診療所)

日 時：令和元年5月17日（金）17：00～17：50  
場 所：東村立診療所  
出席者：東村立診療所長 宮城 辰志 様  
琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田 昌人  
琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務補佐員 東 啓子

■がん情報及び地域がん医療説明会「もしも東村でがんになったら」

日 時：令和元年5月17日（金）18：30～20：30  
場 所：東村立保健センター  
参加人数：49人  
内 容：(1) 講演「がん情報のさがし方勉強会 i n 東村」  
琉球大学医学部附属病院 がんセンター長 増田 昌人  
(2) 講演「東村でできるがん医療」  
東村立診療所長 宮城 辰志 様  
(3) 質疑応答

■個別相談

日 時：令和元年5月17日（金）講演会終了後 20：30～21：00  
場 所：東村立保健センター 相談室  
相談者：2組

国民の2人に1人はがんになる時代です。  
いざというとき、自分の納得いくかたちで  
病気と向きあうために、がん治療の現状も  
交えながらお話しします。  
もしもに備えて考えてみませんか？  
どなたでも、お気軽にご参加ください。



がん専門医が伝える  
病院・診療所の上手なかかり方



# もしも 東村で がんになったら

—がんサポートハンドブック・  
—がん療養場所ガイドブック  
活用説明会 in 東村—

東村のみなさまへ  
がん診療の疑問や不安を解消する説明会を  
東村で開催します。地元の診療所でどんな治  
療ができるのか、がん情報さがしのコツを、専  
門家の立場からお話しします。  
がんはすべての人にとって身近な病気です。  
情報は“力”となり療養生活を支えます。  
まずは「知る」ことから始めませんか。

琉球大学医学部附属病院 がんセンター長  
増田 昌人



(講演)

- ・東村でできるがん医療について 東村立診療所 宮城 辰志 先生
  - ・病院のかかり方、情報の集め方 琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人
- ※終了後、医師による個別がん相談対応あり

日 時: 5月17日(金) 午後6時半～7時半(午後6時開場)

場 所: 東村立保健福祉センター

対 象: 東村にお住まいのみなさん

参加費: 無料

主 催: 琉球大学医学部附属病院がんセンター 沖縄県がん患者等支援事業

内容に関するお問い合わせ: 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

☎ 098-895-1531

## ■ 広報手段

ポスター : 役場・公共機関へ掲示

チ ラ シ : 東村全世帯へ配布 (約900世帯)

## がん情報のさがし方勉強会 in 東村

「おきなわがんサポートハンドブック」  
「がん患者さんのための療養場所ガイド」

琉球大学医学部附属病院がんセンター  
増田 昌人

### がんに対する情報をどこで得るか？

1. 主治医やその他の医療者から、情報をとことん得る
  - あなたを診ている主治医や看護師等の医療者は、あなたの状況に基づいて、最も適した情報を提供してくれる存在
  - 本当に必要なのは、あなたの現在、または将来の状況に基づく個別化した情報であり、一般的な情報ではない
2. 別の医師の意見を聞く「セカンドオピニオン」を活用する
3. がん診療連携拠点病院の「がん相談支援センター」を活用する
4. 書籍を活用する
  - 推奨できるものは限られているので、信頼できるもののみを閲覧する（詳細は後述）
5. インターネットを活用する
  - 推奨できるものは限られているので、信頼できるもののみを閲覧する（詳細は後述）

2019/5/17

がん情報のさがし方勉強会in東村

3

### 東村立診療所



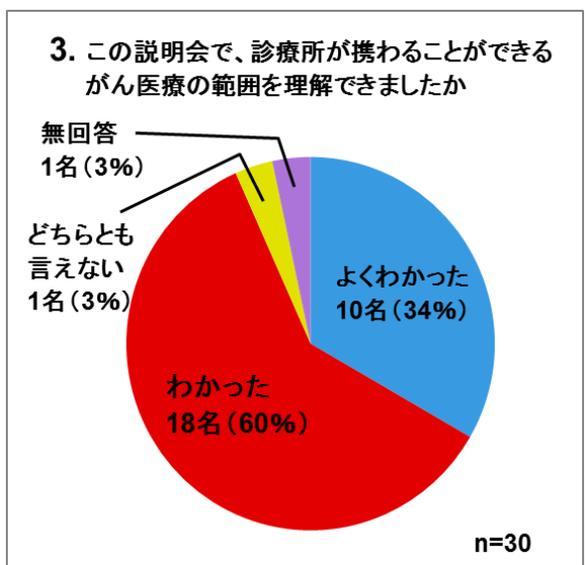
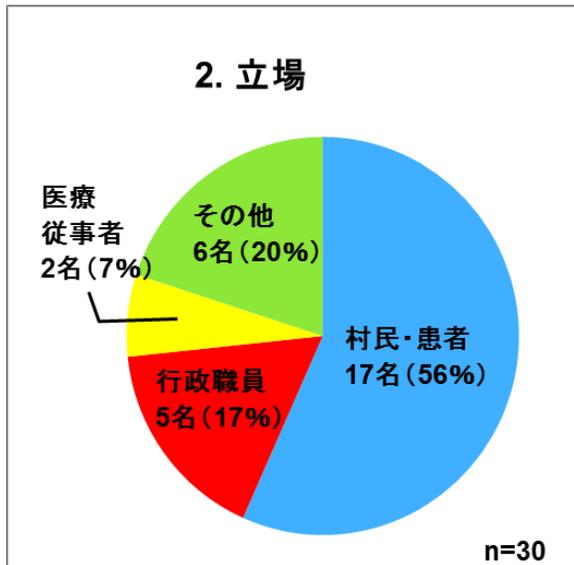
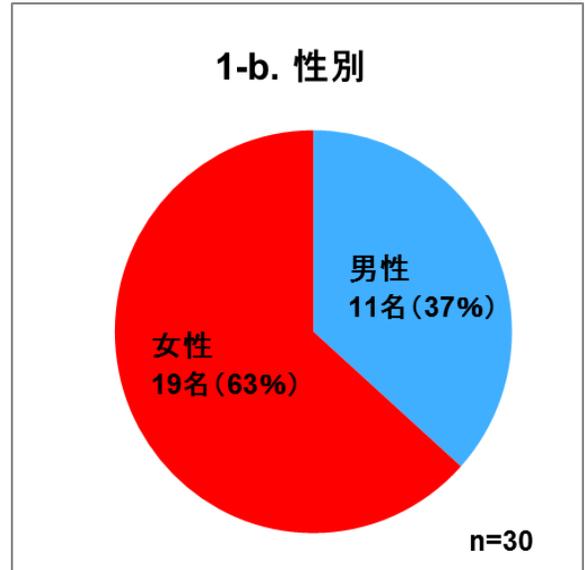
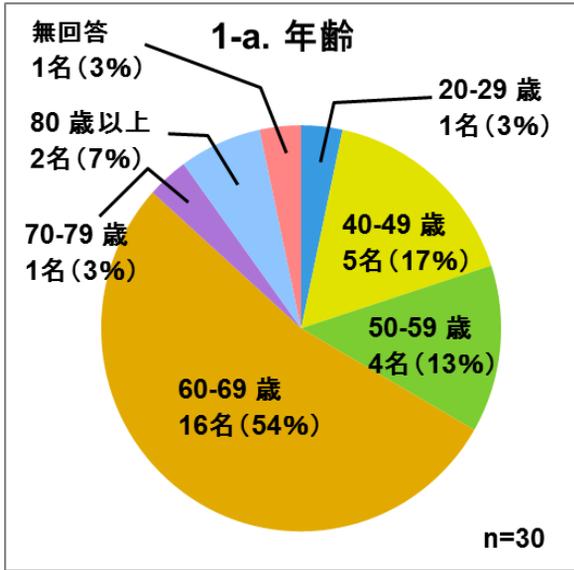
宮城 辰志 先生

## 東村立診療所

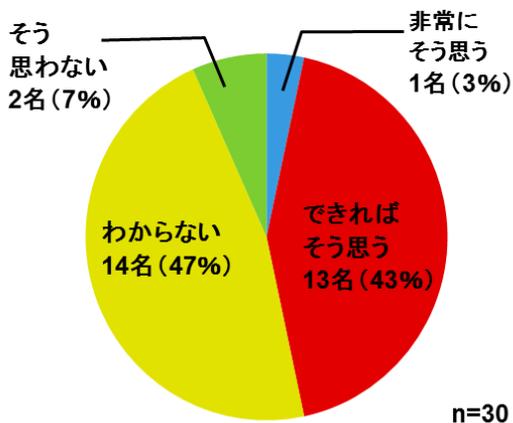
- (1) 診療所で実施している一般診療
- (2) 診療所でできる癌診療



参加者49人 アンケート回収30人 アンケート回答率61%



4. もし身内が、がんなどを患い自宅で最期を希望されるとき、自宅で看取りたいですか



5. 4の理由を教えてください。

本人の希望を聞いてから対応したい

本人に確認してから考えたい。

なるべく本人の希望を受け入れたい。

本人の意思を尊重してあげたいです。

(実際の体験から) 自宅での看取りを希望していたが、医療行為・ケア等が自宅では不可能であって、病院の緩和ケアはすばらしかった。

一人ではできない。

看護が自身だけで不可能。

本人の意思を尊重したいのでできるだけ自宅で看取りたい。

家がいいから。

とても複雑な気持ちです。話を聞くと最期はすごくいたいという事ですので、はたしてそのいたさをみている事が出来るかどうか今の所は病院でと思っています。その場面にならないと本心は分かりません。

相互に幸福感を受け、与えながら最後を迎えたい。

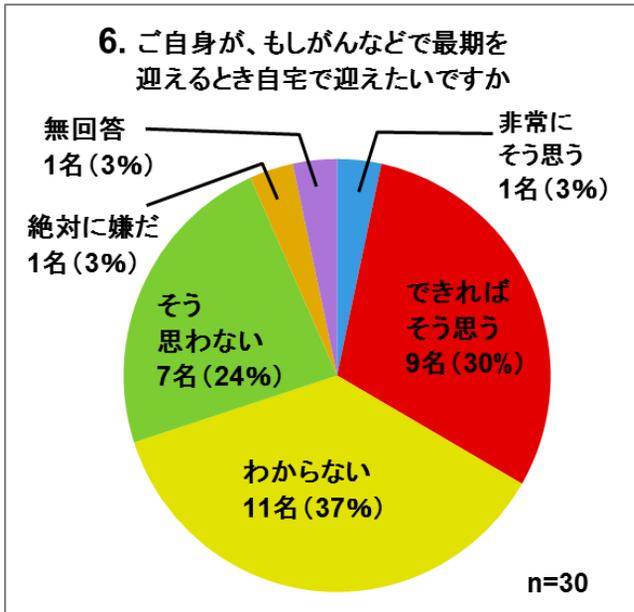
常時かかわってあげられない。

周囲に迷惑を掛けずに死にたい。

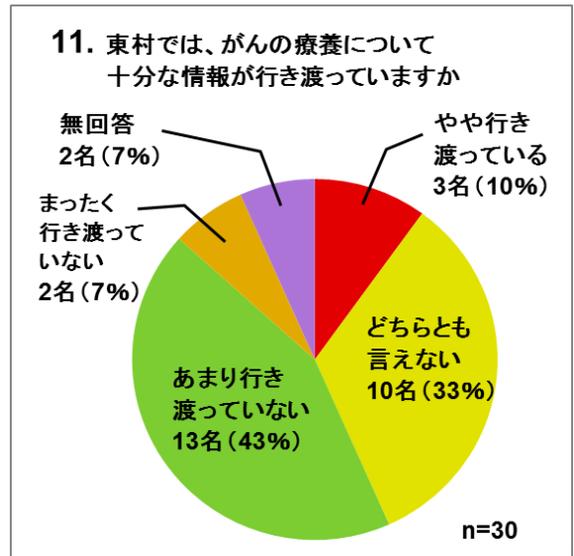
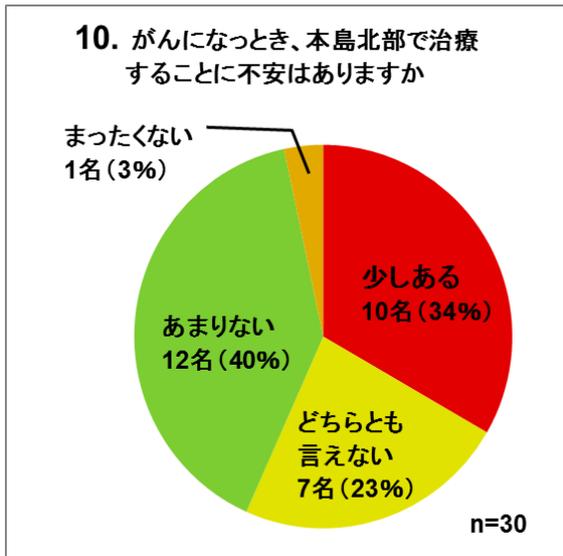
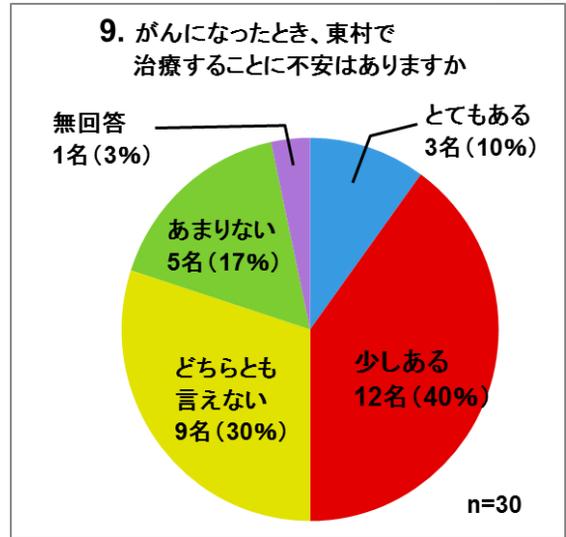
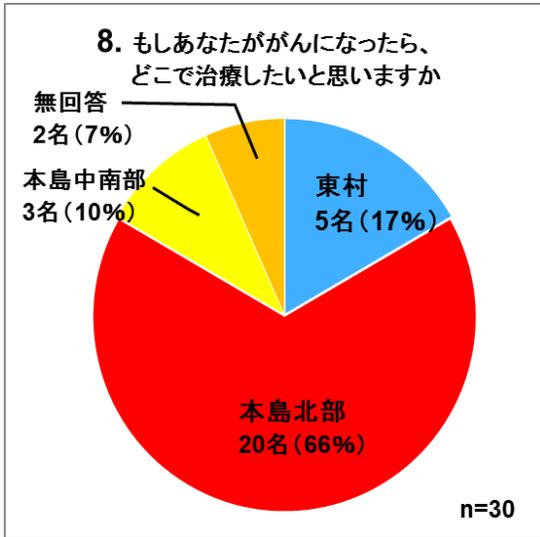
患者のやすらぎが得られると思う。

人生の最後をできるだけ安らかに逝かせたい。

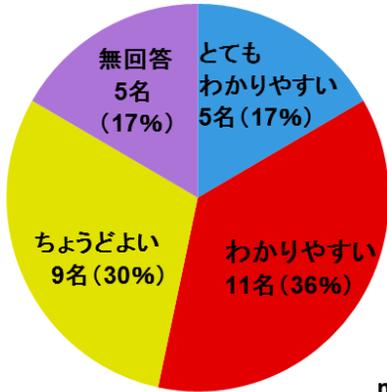
家族の希望をきいてあげたいが、はたして自宅で介護ができるのか不安。



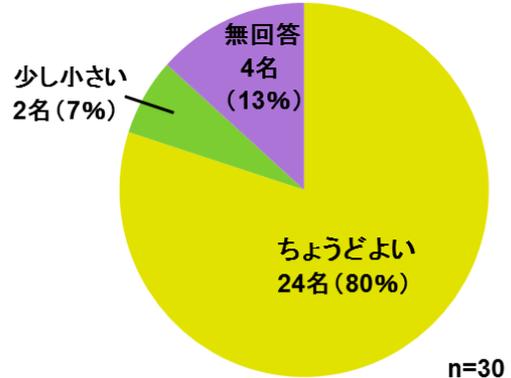
7. 6の理由を教えてください。
家族に負担をかけたくない
自分はどこでもいいと思っているからです。
普段生活していた場所が落ち着くと思う。
家族に迷惑をかけたくないから。自分の事ができる間は自宅でいたい。
自宅で最期を迎えたいが、家族(特に子供)には迷惑はかけられない!
迷惑をかける。
自宅で安心できる。
独居なので病院等の施設に頼るしかないと思いますが現時点ではわからない。
看病してくれる方につらい気持ちを持たせたくない。本人も大変ですが看病する人も同じ位大変です。
心の安らぎ幸福感を求めたいかも知れませんが。他には死生観を含めた多様な視座があることを家族に伝えたい。
家族にかかる負担。
ひっそりと死にたい。「独生独去」
5.と同じ(患者のやすらぎが得られると思う。)
苦痛を防ぐ方法があればそれを併用してでも。
家族に迷惑をかけたくないのによくわからない。



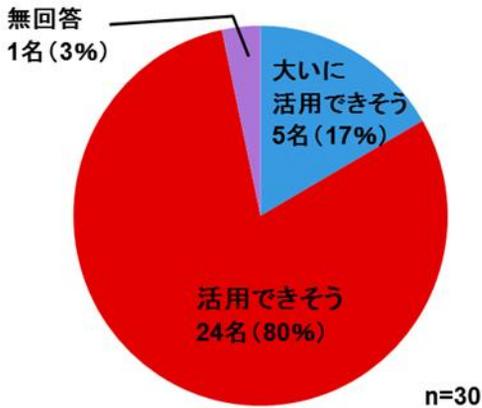
12. がんサポートハンドブックの内容についてどう思われますか



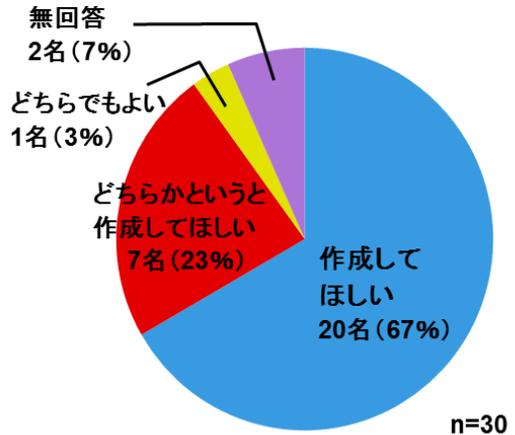
13. がんサポートハンドブックの文字の大きさ(フォントサイズ)についてどう思われますか



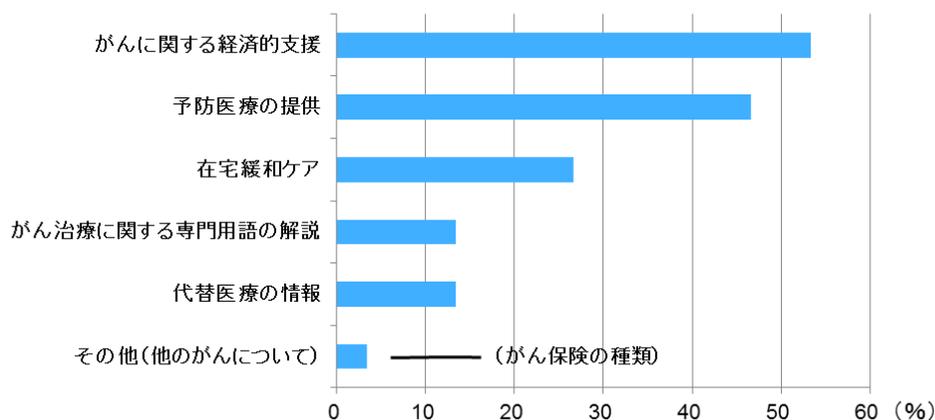
14. がんサポートハンドブックを活用できそうですか



15. この冊子を、今後も継続して作成してほしいと思いますか



## 16. がんサポートハンドブックに追加掲載を望む内容(複数回答可)



## 17. 説明会の感想や、病院への要望など何かあれば自由に記載してください。

がんのリスクと要因がわかりやすく、検診を受けることの重要さが理解出来た。

癌になった時の不安が安らいだ。まず早期発見にと検診を毎年うけようと思った。増田先生の講演聞いてとても良かったです。

がんがこわくなくなった気がします。

今までぜひほしいと思っていた説明会が実現してとてもよかったと思い感謝しています。特に本についてサポートBOOKにも。又、地元の診療所でもたくさんの検査ができる事を知れて良かったです。村民全員に認知されるといいですね。街にいく負担が軽くなり助かります。いろいろとても安心しました。

大変よく理解できました。ありがとうございました。

主体は患者本人。検診の必要性確認できました。ありがとうございました。

北部に専門的な医療医師などほしい。

セカンドオピニオンについて、先生のお話を拝聴してますます興味がわきました。

出席出来て良かったです。

現在一年に1回琉大病院へ通っています。これからも琉大病院で受診したいと思っています。

健康に関する講演は多くあってほしい。両先生、スタッフの皆様、有り難うございました。

琉大病院まで行かなくてもガン治療ができる事は理解できた。

はじめての企画でとても良かった。

とても為になりました。勉強になりました。

東村立診療の医療体制が理解できて良かった。

ガンに関心を持つキッカケなるような気がする。

## ○ 当日の様子（意見交換）

### ■ 東村におけるがん医療の在り方についての協議

（東村役場）

當山	全伸	村長
金城	紀昭	副村長
金城	幸人	福祉保健課 課長
玉城	梓	福祉保健課 保健師



（東村立診療所）

宮城 辰志 先生



# ○ 当日の様子(講演会)

■がん情報及び地域がん医療説明会 もしも東村でがんになったら  
 講演：「がん情報のさがし方勉強会I n 東村」  
 琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人



講演：「東村でできるがん医療」  
 東村立診療所長 宮城 辰志 先生



受付

質疑応答

閉会の挨拶：東村役場  
 福祉保健課 玉城 梓 様



会場（東村立保健福祉センター）

個別相談室



琉球大学医学部附属病院がんセンター  
平成31年度がん患者等支援事業

# がん情報及び地域がん医療説明会 「もしも伊良部島でがんになったら」 に関する報告書

2019年6月7日

地域の療養情報「おきなわ がんサポートハンドブック」の刊行に際し、本書の活用説明会を宮古島市・伊良部島で実施した。宮古島市におけるがん医療の在り方について、宮古島市長・担当部長らと協議した。また、講師をされる県立宮古病院医師や宮古地区医師会長とも同様の協議を行った。

■宮古島市におけるがん医療の在り方についての協議

(宮古島市役所)

日 時：令和元年6月7日（金）13：30～14：00

場 所：宮古島市役所 市長室

出席者：宮古島市 市長 下地 敏彦 様

宮古島市役所 生活環境部 部長 垣花 和彦 様

宮古島市役所 生活環境部 健康増進課 課長 仲宗根 美佐子 様

宮古島市役所 生活環境部 健康増進課 課長補佐 下地 徹 様

琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田 昌人

琉球大学医学部附属病院がんセンター事務補佐員 東 啓子

(県立宮古病院)

日 時：令和元年6月6日（木）17：30～18：00

場 所：県立宮古病院

出席者：県立宮古病院 消化器内科医師 新里 雅人 様

琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田 昌人

琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務補佐員 東 啓子

(宮古地区医師会)

日 時：令和元年6月6日（木）19：30～20：30

場 所：うむやすみやあす・ん診療所

出席者：宮古地区医師会長 うむやすみやあす・ん診療所 院長 竹井 太 様

琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田 昌人

琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務補佐員 東 啓子

■がん情報及び地域がん医療説明会「もしも伊良部島でがんになったら」

日 時：令和元年6月7日（金）19：00～21：00

場 所：東地区構造改善センター

参加人数：34人

内 容：(1) 講演「がん情報のさがし方勉強会 in 伊良部島」

琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人

(2) 講演「伊良部島でできるがん医療」

県立宮古病院 新里 雅人 様

(3) 質疑応答

(4) 閉会のご挨拶

宮古島市役所 生活環境部 健康増進課長 仲宗根 美佐子 様

■個別相談

日 時：令和元年6月7日（金）講演会終了後

場 所：東地区構造改善センター

相談者：なし



**国民の2人に1人はがんになる時代です。**  
 いざというとき、自分の納得いくかたちで  
 病気と向きあうために、がん治療の現状も  
 交えながらお話しします。  
 もしもに備えて考えてみませんか？  
 どなたでも、お気軽にご参加ください。



がん専門医が伝える  
 病院・診療所の上手なかかり方



# もしも伊良部島で がんになったら

—がんサポートハンドブック・  
 がん療養場所ガイドブック  
 活用説明会 in **伊良部島**—

宮古島市のみなさまへ  
 がん診療の疑問や不安を解消する説明会を  
 伊良部島で開催します。地元の診療所でど  
 んな治療ができるのか、がん情報さがしのコ  
 ツを、専門家の立場からお話しします。  
 がんはすべての人にとって身近な病気です。  
 情報は“力”となり療養生活を支えます。  
 まずは「知る」ことから始めませんか。

琉球大学医学部附属病院 がんセンター長  
 増田 昌人



（講演）

- ・伊良部島（宮古島市）でできるがん医療について 県立宮古島病院 新里 雅人先生
  - ・病院のかかり方、情報の集め方 琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人
- ※終了後、医師による個別がん相談対応あり

日時：**6月7日（金）午後7時～8時半**（午後6時半開場）

場所：**東地区構造改善センター**（伊良部地区）

対象：**宮古島市にお住まいのみなさん 参加無料**



主催：琉球大学医学部附属病院がんセンター 沖縄県がん患者等支援事業  
 共催：宮古島市役所

内容に関するお問い合わせ：琉球大学医学附属病院 がんセンター

☎ 098-895-1531

- 広報手段 : 共催の宮古島市役所によるポスター掲示と配布
- ポスター : 役場・公共機関及び伊良部地区スーパー等へ掲示50枚
- チラシ : 伊良部地区全世帯へ配布（約2900世帯）  
 官公庁舎へ100枚

## がん情報のさがし方勉強会 in 伊良部島

「おきなわがんサポートハンドブック」  
「がん患者さんのための療養場所ガイド」

琉球大学医学部附属病院がんセンター  
増田 昌人

### 最後に

1. 万が一の時に備えて、
  - (1)再発した場合のこと
  - (2)治療が難しくなった場合のこと
  - (3)最期を迎える場所（自宅 or 宮古の病院 or 本島の病院）を、家族や大切な人と相談しておく
2. 相談して決めたことを、紙に書いて、日付と署名と印鑑を押しておく

\* がんになってもならなくても、普段から自分自身がどのような医療を望むのか、人生の最期はどのように迎えたいのかを考えておくこと、その考えを家族や大切な人に伝えたり、相談したり、理解を得ておくこと、その結果を文書に残しておくことは、とても大切なことだと思います

(= **アドバンス・ケア・プランニング**)

2019/6/7

がん情報のさがし方勉強会in伊良部島

15

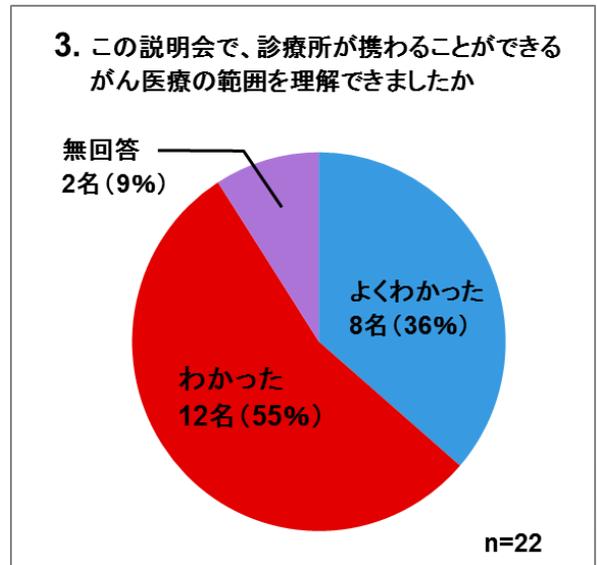
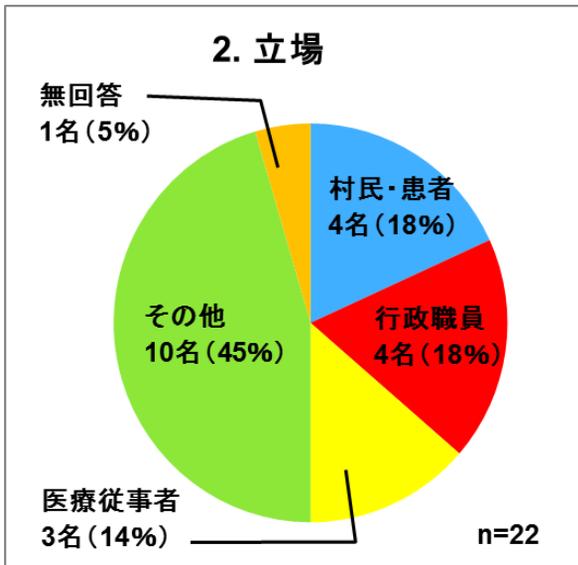
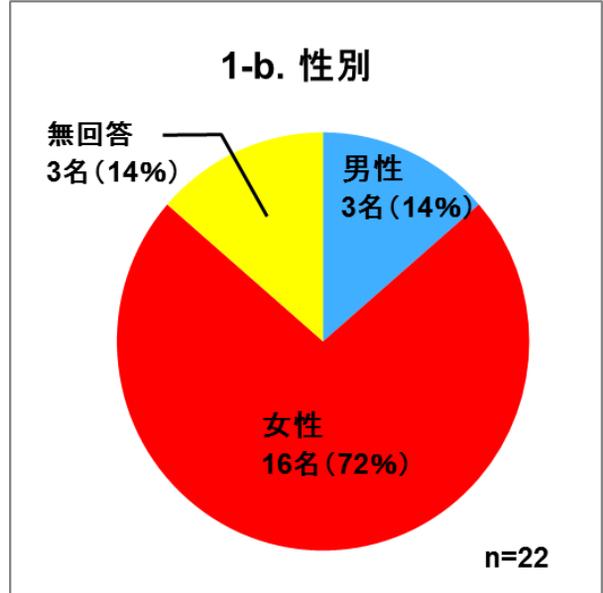
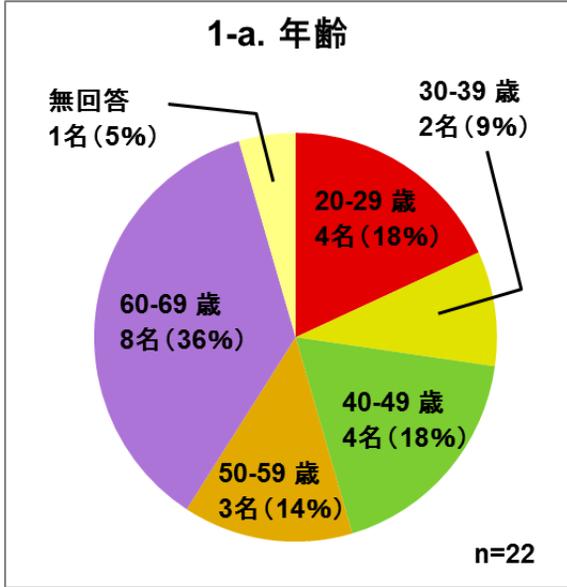


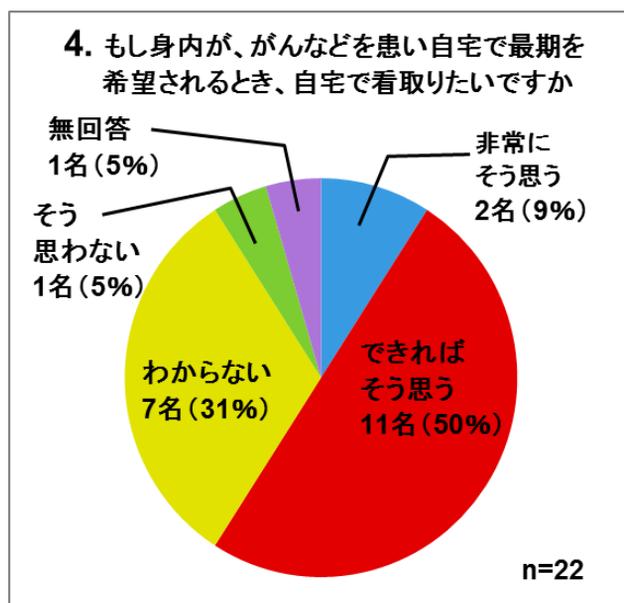
### 本日、お話ししたいこと

- 疫学的データ、リスクファクターを知り、  
予防および早期発見・早期診断を！
- 検診や地域医療連携から  
予防および早期発見・早期診断を！
- 伊良部島・宮古島のがん診療における  
当院の役割について！



参加者34人 アンケート回収22人 アンケート回答率65%





#### 5. 4の理由を教えてください。

GW中に父が大腸がんの宣告を受け、初めは病院で診てもらいながらいいのかと思っていたが、長年住んで愛着のある自宅で、ゆっくりと最期を迎えてもらう方が、父にとっていいのかなと思いました。

最後をみてあげたい。希望をかなえる。

自宅が安心すると思う。本人の意思を尊重したい。

本人とかぞくの相だんで決めると思います。

本人が希望すれば、意向にそいたい。

自分自身がそうしたい。

家族の顔が見える、コミュニケーションがいつもとれる環境で、最期を迎えさせてあげたい。

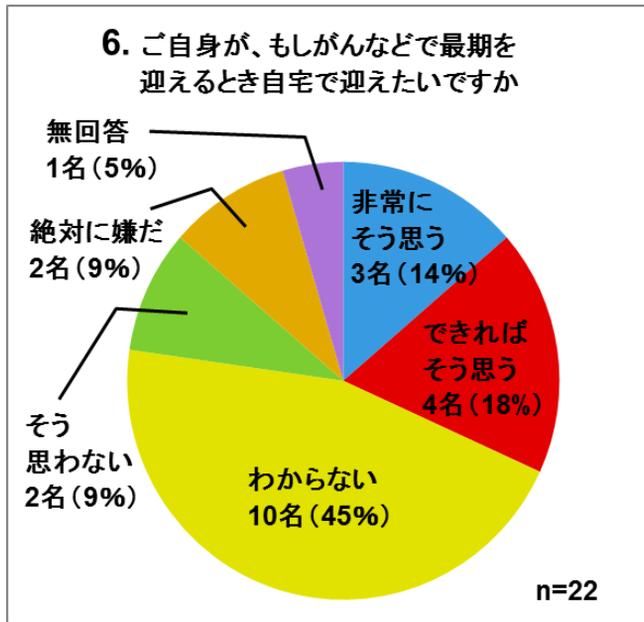
どこまで対応できるかわからない。

一人ではできない。

一昨年に主人の姉を琉大病院でなくなりました。きとく状態が2~3日ありましたが、最期を迎えた際には娘のみはなんとかたち会えたのですが、自宅で看取りたいと強く思いました。

自信がないかも

本人の意思を尊重し、できるだけやってあげたい。



**7. 6の理由を教えてください。**

少しでも精神的に安心しながら死にたいから。

迷惑をかけたりしたくない。

その時のまわりのかんきょうで決めたいです。

独身で、地元にも家もなく家に執着がない。緩和ケア病棟で安心してすごしたい。

病院での死はしたくない。自然の流れでいたい。

最期は疼痛緩和以外の治療を希望しない。家族の存在を感じていたい。

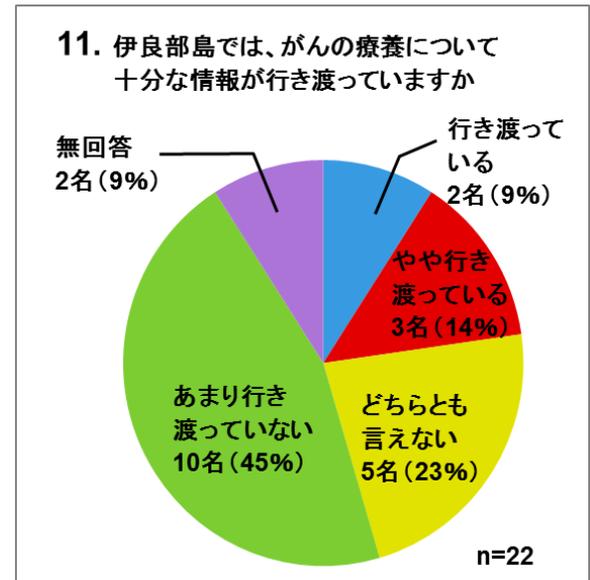
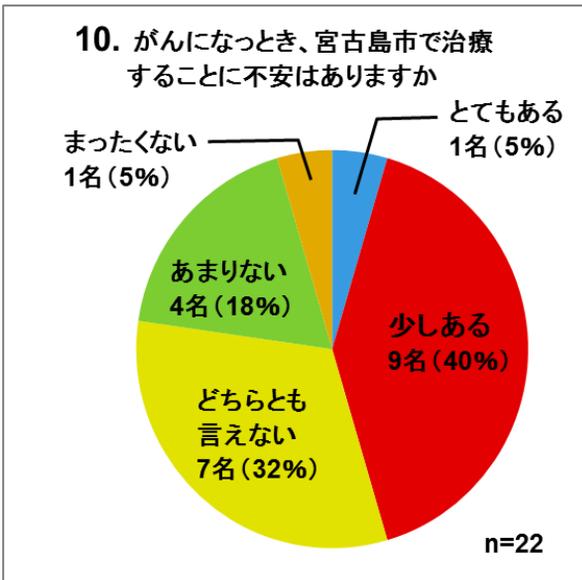
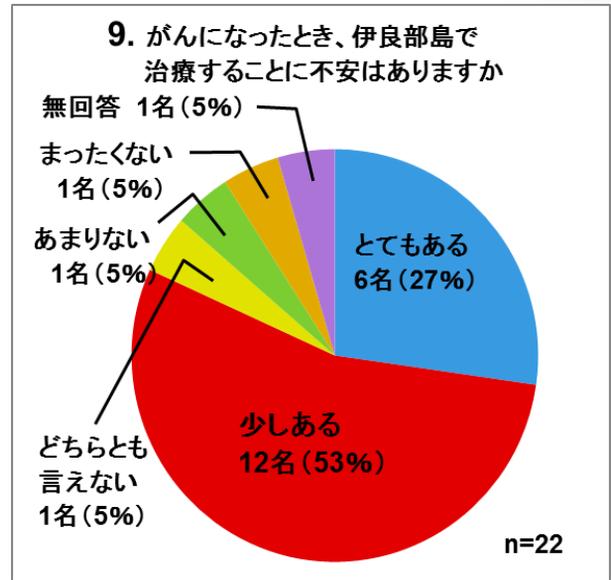
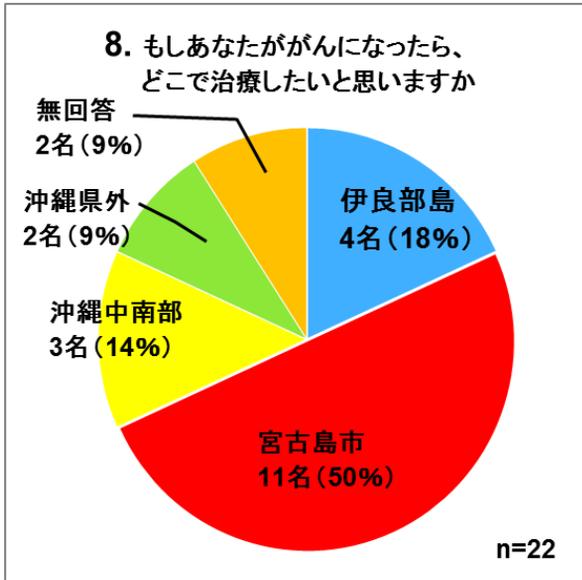
迷惑がかからないか心配。

迷惑をかける。

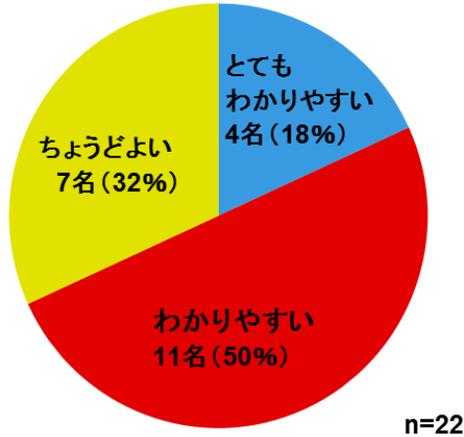
治療がこれ以上望めないと判断して頂けたら、自宅での診療をお願いし、最期を家族とすごしたい。

家族が大変だと思うので。

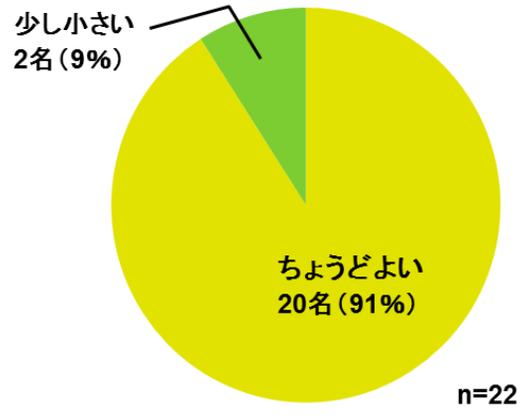
家族に負担をかけたくない。



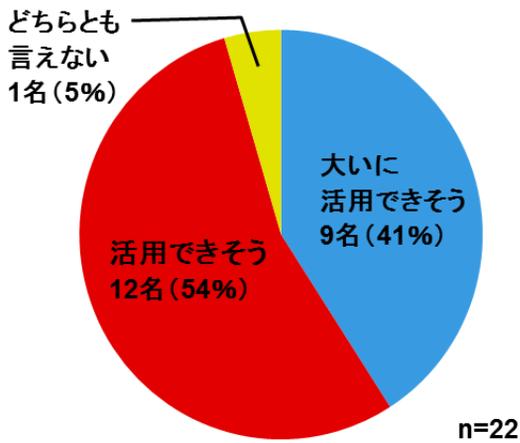
12. がんサポートハンドブックの内容についてどう思われますか



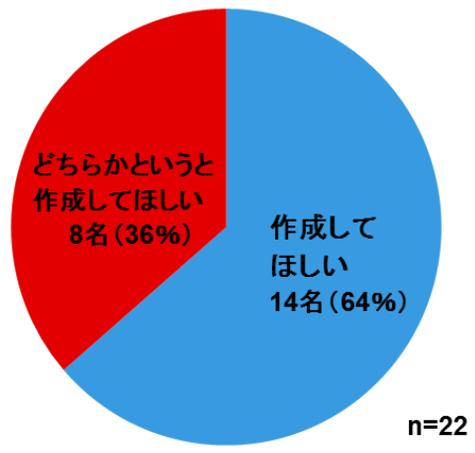
13. がんサポートハンドブックの文字の大きさ(フォントサイズ)についてどう思われますか



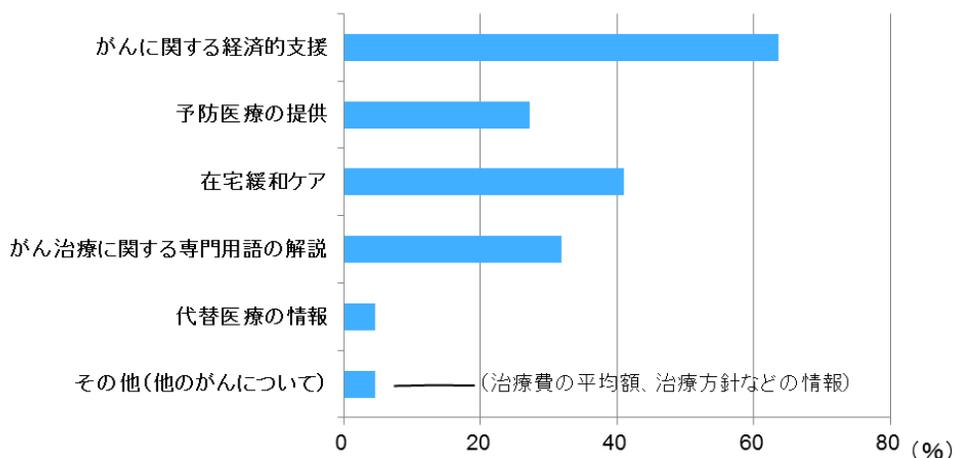
14. がんサポートハンドブックを活用できそうですか



15. この冊子を、今後も継続して作成してほしいと思いますか



## 16. がんサポートハンドブックに追加掲載を望む内容(複数回答可)



## 17. 説明会の感想や、病院への要望など何かあれば自由に記載してください。

身内や自分自身ががんになることをあまりイメージしたことがなかったのですが、もしもの時、この情報が役に立つと思いました。この年代でもがんになりうるので、聞いて良かったです。

治療は、きちんと治療できるならどこでもいいが、家の近くがいい。

TV、ネットの情報にまどわされないよう気をつける！ 離島＝医療の遅れではないんだと分かった。検査の機械が写真で見れた。分かりやすかった。

ちょっとした事でも、分からないことが知れてとても良かった。

がんに限らず誤った情報をうのみにしてしまったことで、自身の不安を増やしてしまっていることが多いと思う。医療側からの市民への周知活動が必要と感じる。

今までぜひほしいと思っていた説明会が実現してとてもよかったと思い感謝してます。特に本についてサポートBOOKにも。又、地元の診療所でもたくさんの検査ができる事を知れてよかったです。村民全員に認知されるといいですネ。街に行く負担が軽くなり助かります。いろいろとても安心しました。

主体は患者本人。検診の必要性確認できました。ありがとうございました。

増田先生の語り口が具体的な説明と裏付けの理由等が大変解りやすい。新里先生のデータも良かった。受診率が低いんだ。宮古愛を両先生から感じました。

島でがんになったらなので、専門的な話しよりもっとわかりやすい方がいいと思います。

今日の講演会で地域の病院がやっていることが思っているほどよかったと思いました。

身近な宮古病院の内容がわかってとても良かったです。時々は伊良部島で説明会をもってほしいと思います。もっと多くの人に参加してほしいと思います。

高齢になってきて、気になるのは健康の中でもがん予防には最も関心があったので、今日の講話は身近に相談機関がある事も知ったりやたら那覇県外に走りまわらず主治医の先生と、信頼して相談することを理解できました。ありがとうございました。

■宮古島市におけるがん医療の在り方についての協議

（宮古島市役所）

下地 敏彦 市長

生活環境部 垣花 和彦 部長

生活環境部 健康増進課 仲宗根 美佐子 課長

生活環境部 健康増進課 下地 徹 課長補佐



（県立宮古病院）

新里 雅人 先生



（宮古地区医師）

会長・うむやすみやあす・ん診療所 竹井 太院長



■ がん情報及び地域がん医療説明会 もしも伊良部島でがんになったら  
講演：「がん情報のさがし方勉強会」 in 伊良部島  
琉球大学医学部附属病院がんセンター長 増田 昌人



講演：「伊良部島（宮古島市）でできるがん医療」  
沖縄県立宮古病院 新里 雅人 先生



受付

質疑応答



会場

(東地区構造改善センター)

閉会の挨拶：  
宮古島市役所  
健康増進課  
仲宗根 美佐子課長

